

令和2年度

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間ルート		報告者:十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾					報告年月日:2021/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウエイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	連携事業	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト事業	シーニックバイウエイ&ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	令和2年4月～令和3年3月	主催者:60名程度	—	北海道ガーデン街道、十勝シーニックバイウエイ3ルート、大雪・富良野ルートの連携で次世代に良い景観を継承していくための植樹や景観保全の連携事業を実施。民間企業との連携にも繋がり、今後も継続して実施していく予定である。
		—	—	—	—	—	—	—
地域	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
		情報発信事業	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成を実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	連携・体験事業	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—		
		情報発信事業	SNS・動画配信事業	トカプチ雄大空間	令和2年8月31日(土)～9月1日(日)	主催者:10名程度	—	
トカプチ情報ボックス事業	トカプチ雄大空間	令和2年4月～令和3年3月	エリア内13拠点	A — 4	トカプチ雄大空間エリア内の観光拠点にPRのため設置している「トカプチ情報ボックス(観光パンフレット設置ラック)」にルート内施設の観光パンフレットなどを期間中6回配布を行った。主に観光施設に設置しており、お客様からの需要も高いので、今後も実施していく予定である。			
トカプチマップ事業	トカプチ雄大空間	令和2年3月発行	主催者:10名程度	A — 3	昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度は、十勝の動物を中心に内容も充実させた。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート 報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾 報告年月日:2021/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					活動状況 資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数			
観光		人材育成事業	ライフコンシェルジュ事業 ※活動は下記の通り	トカプチ雄大空間	令和2年4月～令和3年3月	ライフコンシェルジュ(登録人数:30人)	A — 2	十勝の魅力・生活の楽しさを伝える「ライフコンシェルジュ」事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」外へのライフコンシェルジュの派遣がある。 コロナ禍で観光客が減ったため、派遣の機会が少なくなったが、昨年度トライアルを行った、十勝・帯広の歴史や食について説明を行いながら、一緒に街なかを散策する短時間ツアーを実施した。ライフコンシェルジュの育成事業として、観光客により充実した十勝の情報を提供するため、定例会のほかに講習会を開催した。感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。	
			①十勝ヶ丘展望台ライフコンシェルジュ派遣事業	トカプチ雄大空間 ※十勝川温泉旅館協同組合	令和2年9月5日(土)～9月27日(日)	ライフコンシェルジュ延16人を派遣			
			②「なるほど!おびひろ」散策 ガイド派遣事業	トカプチ雄大空間	令和2年2月13日(木)	ライフコンシェルジュ1名派遣			
			③育成事業	トカプチ雄大空間	令和2年8月～令和3年2月	ライフコンシェルジュ延55名参加			
		販売促進事業	ふたりぼっちパスポート事業	トカプチ雄大空間	令和2年5月1日(金)～令和2年11月30日(月)	主催者:10名程度			A — 1
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指す。	連携・体験事業	—	—	—	—	—		

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ふたりぼっちパスポート事業

- 【概要】 要】今年度で10年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とちちファンクラブ会員証」のかたちを変えた「ふたりぼっちパスポート」を販売。2名以上で利用すると1名無料となるパスポート型チケットで、1冊1,400円で販売、最大約2万円お得となる。観光施設など、道内約30か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。十勝の魅力ある店舗を募り、お得に十勝を巡ることで魅力を発見して貰うと共に、参加店舗の宣伝効果により、地域活性化を図る事業となっている。
- 【販売・実施期間】 令和2年5月1日（金）～令和2年11月30日（月）
- 【対応施設エリア】 十勝シーニックバイウェイエリア
- 【事業対応施設】 上記エリア内のガーデン、グルメ、温泉、アクティビティ、グッズの40施設（北の屋台20店舗含む）
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
- 【販売・利用数】 470冊販売、延べ1,654名利用



ふたりぼっちパスポート(表面)



ふたりぼっちパスポート(裏面)

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」（ご当地風土アドバイザー）の育成事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」、昨年度に試行で始めた「街なか散策ツアー」から、今年度は旅行会社と連携した派遣を行った。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。観光客などにより充実した十勝の情報を提供するため、ライフコンシェルジュを対象とした講習会等を実施している。

【活動期間】 令和2年8月～令和3年2月

【場所】 十勝管内にて活動を実施

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【活動状況】 ライフコンシェルジュ：30名 ガイド活動実施先は以下のとおり

- ①シーニックカフェ十勝が丘展望台（9/5～9/27土日祝日）延べ16名／②「なるほど！おびひろ」散歩（2/13）1名



「なるほど！おびひろ」散歩



十勝が丘展望台

**LIFE+CONCIERGE**  
十勝の魅力・生活の楽しみ方伝える人

ご当地風土アドバイザー

地元の豊かさを自ら感じ楽しむ

地元の生活スタイルを伝える

親まれ親身になれる人間性

ひと=癒し

ライフコンシェルジュとは

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

- 【概要】 昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度は「いきもの」をテーマに野生動物観察時の注意や野生動物に配慮した道路整備等を紹介するなど、新たな視点から十勝を楽しめるよう内容も充実させた。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。
- 【発行】 令和2年3月
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
- 【マップ仕様】 印刷部数：17,000部 サイズ：A2  
配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など



<トカプチ雄大空間ルートMAP>

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

## 【概要】

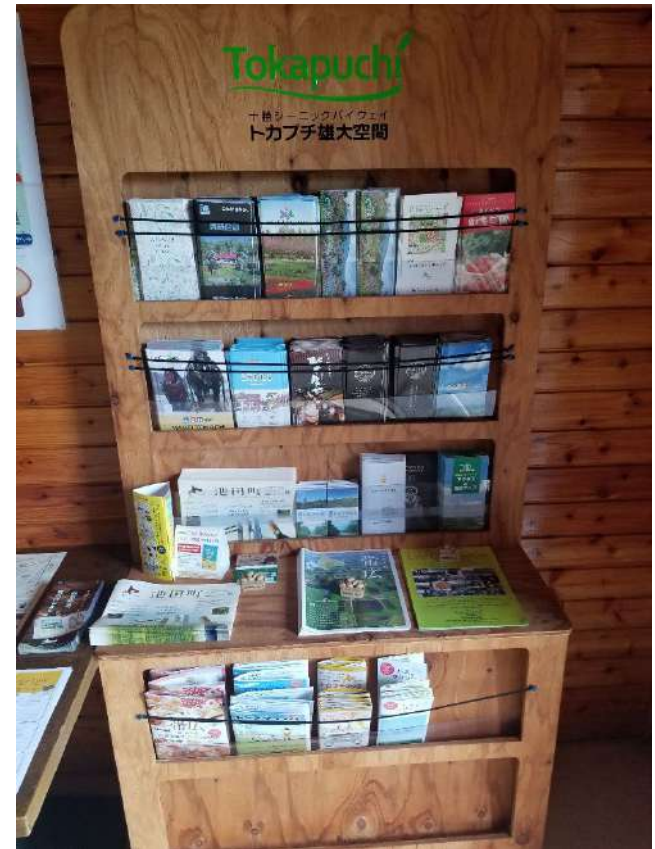
トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、パンフレットの需要も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】 令和2年4月～令和3年3月  
(配送：令和2年6月～11月)

【設置箇所】 13カ所 (加入先20団体)

【配達回数】 6回



＜トカプチ情報ボックス（十勝まきばの家）＞





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2018/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成28年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No.
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	令和2年4月～令和3年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	令和2年4月～令和3年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの紹介、説明などのPRパネルの展示を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。また、昨年度に引き続き、帯広地方第2合同庁舎、道東占冠PAIにPRポスターの展示やデジタルサイネージの活用など、十勝SBWの周知を行った。今後もイベント等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		